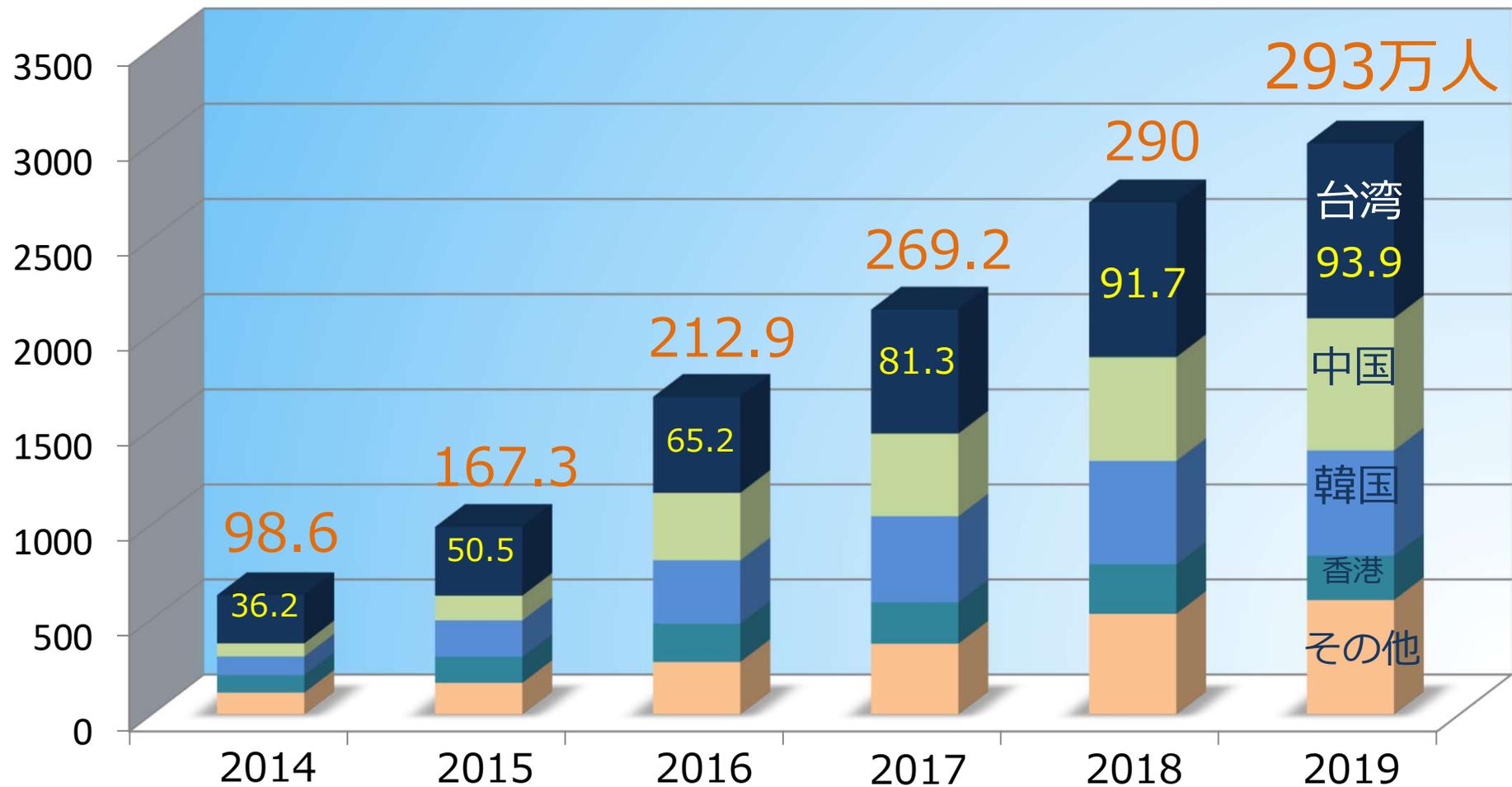


店舗カウンターが海外宅配の窓口 「クラウド型海外宅配支援サービス」

補助事業成果報告

海外宅配支援サービスが「カイタク」する
沖縄の物流と物販の新しい形

外国人観光客の推移（2014～2019年）



「クラウド型海外宅配支援サービス」開発のきっかけ

観光客来県時の荷物問題

お土産を抱えて観光



航空便オーバーチャージ



スーツケース廃棄問題



コロナ禍で見た観光課題

観光客の来店を大前提とした
ビジネスモデルの限界



外国人観光客との繋がりを継続的に
活かせる仕組みの構築が不十分



店舗レベルで外国人観光客とつながる

「店舗で海外宅配ができる仕組み」

普及が次の沖縄観光の切り札に

本事業の実施・開発内容
および、サービス導入の主なメリット

外国人観光客および店舗導入で起きる変化

これまでの海外宅配手続き



店舗で買い物



荷物を持ったまま観光



システム導入後の手続き



店舗で買い物

当サービス利用



店内で必要書類発行

- ・バーコード読み取り
- ・書類必要箇所自動入力
- ・インボイス印刷対応
- ・配送料決済



身軽になって
引き続き観光へ！

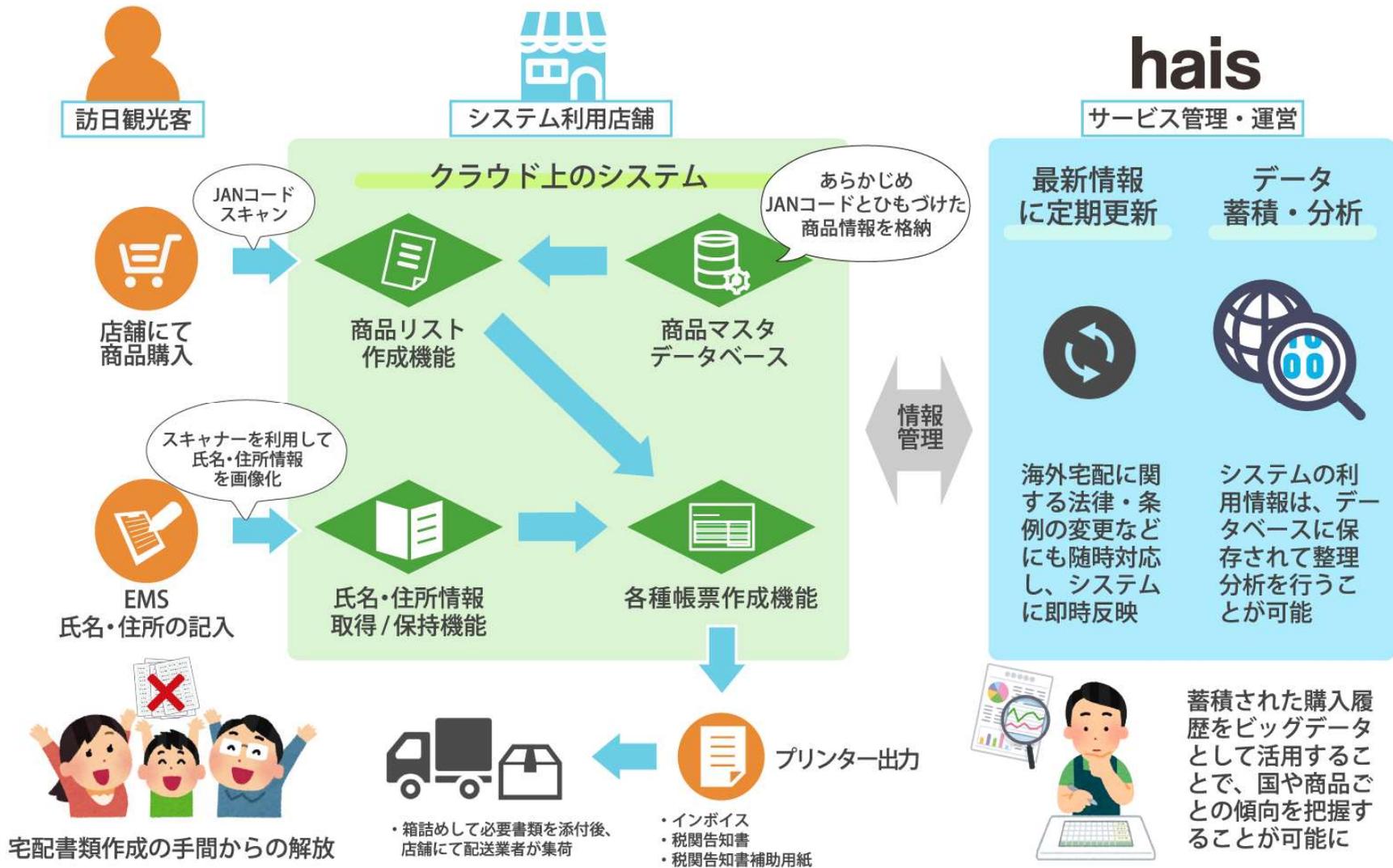


システム利用デモムービー

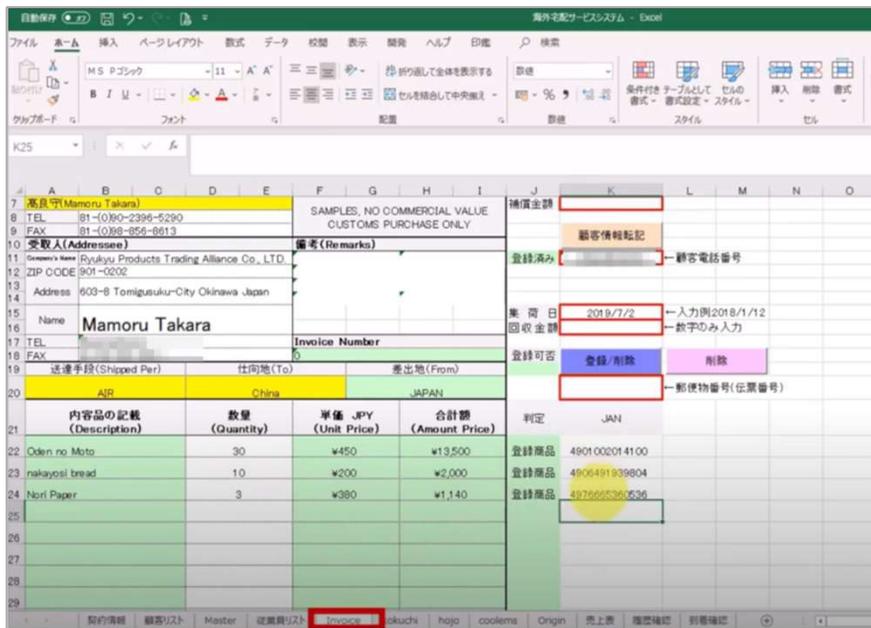
クラウド型海外宅配手続き書類作成のサービスフロー図

ご利用店舗・施設フェーズ

サービス管理・運営フェーズ



ベースとなる基礎設計はすでにあった



(海外宅配サービスシステム Excel Perfect システム画面)

株式会社琉球物産貿易連合
が設計・構築したエクセル版ソフトウェアがベースとなる。

【主な機能】

- 商品データのJANコード読み取り
- 外国語での自動入力対応
- 自動的にインボイス書類を作成
- その場での印刷対応

店舗での海外配送手続きに伴う 業務的障壁を効率化する機能でハードルを突破

- 煩雑な手続き用書類作成を、**かんたん・スピーディに**
- 外国語での書類への記入を、**最小限に**
- 宅配手続きの**知識がなくても利用できる汎用性**

開発機能紹介

JANコードでの商品情報読取

- ・バーコードの活用で、商品情報管理が効率化
- ・商品マスタ情報を利用顧客が共有しシステムの利便性向上

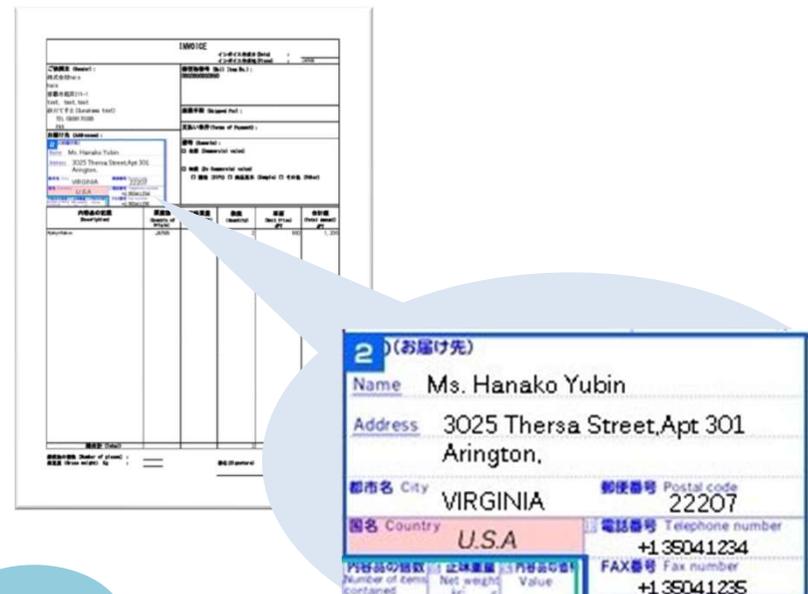


さらに

店舗ごとの独自商品を判別する
インスタコードにも対応し、
オリジナル商品の登録も可能に

外国語情報自動入力

- ・画像をスキャンする機能を搭載し、各国独自の文字を配送票に転記



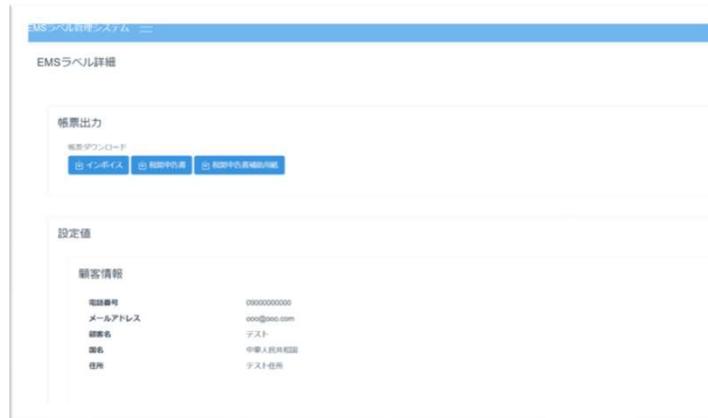
さらに

OCR機能の実装で、スキャン
画像を顧客情報に自動反映
より効率的に

開発機能紹介

Invoice 等の配送に必要な書類の自動作成・印刷機能

- ・ 配送に必要な書類に入力した情報を自動で反映
- ・ 利便性の高いエクセルファイルとして出力・印刷を行う



EMSラベル詳細

伝票出力

伝票ダウンロード

伝票出力

設定値

顧客情報

電話番号 09000000000

メールアドレス ooo@ooo.com

郵便番号 〒100-0000

国名 中華人民共和国

住所 〒100-0000

インボイス

関税申告書

関税申告補助用紙

さらに

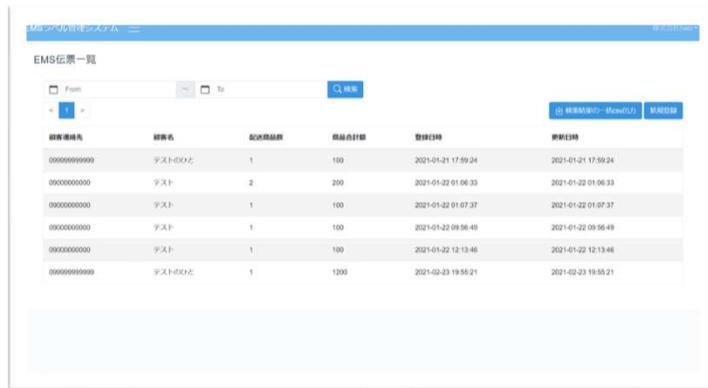
送り先の各国それぞれの配送ルールに対応し、出力伝票の種類を追加予定

将来的に、アジア4カ国以外の米国、欧州への対応も想定している

開発機能紹介

利用情報の蓄積データベース

- ・サービスの利用履歴である、どの国の、どの地方へ、どの商品が、いくつ送られたなどの情報はすべて蓄積され、データベースを形成する



The screenshot shows a web interface for tracking EMS shipments. It features a search bar at the top with 'From' and 'To' fields, and a '検索' (Search) button. Below the search bar is a table with columns for tracking number, recipient name, destination, quantity, shipping date, and arrival date. The table contains several rows of data.

| 追跡番号 | 宛先名 | 配達商品数 | 商品合計額 | 登録日時 | 到着日時 |
|------------|---------|-------|-------|---------------------|---------------------|
| 0000000000 | テスト-ドイツ | 1 | 100 | 2021-01-21 17:59:24 | 2021-01-21 17:59:24 |
| 0000000000 | テスト | 2 | 200 | 2021-01-22 01:06:33 | 2021-01-22 01:06:33 |
| 0000000000 | テスト | 1 | 100 | 2021-01-22 01:07:37 | 2021-01-22 01:07:37 |
| 0000000000 | テスト | 1 | 100 | 2021-01-22 09:56:49 | 2021-01-22 09:56:49 |
| 0000000000 | テスト | 1 | 100 | 2021-01-22 12:13:46 | 2021-01-22 12:13:46 |
| 0000000000 | テスト-ドイツ | 1 | 1200 | 2021-02-23 19:55:21 | 2021-02-23 19:55:21 |

さらに

蓄積されたデータは、厳重なセキュリティのもとで管理され、将来的にデータベースを活用したビジネス展開を見据えて運用される沖縄県の観光、さらに日本全国の越境物流情報を集約できる

データベースの分析機能

- ・期間ごと、国ごと、商品ごとなど、さまざまな切り口で、データを集計、ソートする機能を搭載する。



(イメージ画像)

より多くの事業者が導入・活用できるサービスへ クラウド化で誰でも継続して使える事が普及のカギ

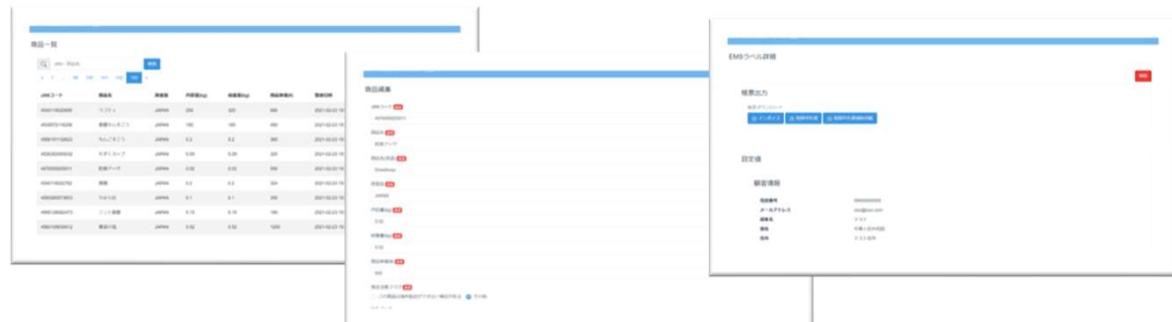
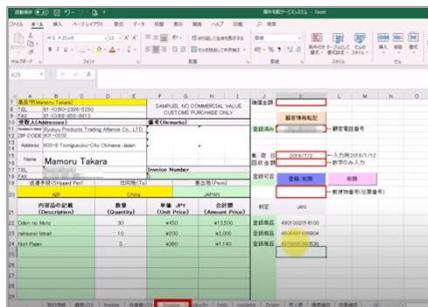
現状のソフトウェア

- ・ エクセルベースでシステムを複製されやすい
- ・ パッケージ販売のみ販売形態 (システム利用課金が難しい)
- ・ 個別のアップデート対応が困難
- ・ システムを理解する人員が必要

クラウド化のメリット

- ・ クラウドサービス化で複製を防止
- ・ オンラインでのソフトウェア提供で多くの店舗が利用可能に
- ・ 常に新しい制度、仕組みに対応
- ・ 店舗側での保守が不要

直感的に操作しやすい管理画面



テスト導入の開始でメディアの注目も

沖縄タイムス+プラス
2020年5月21日掲載



お土産を海外に宅配 沖縄の道の駅が仕組み作り コロナ後のインバウンド見据え

2020年5月21日 09:30

沖縄県産手納町の「道の駅かでな」の指定管理者が4月から、アジアを中心に県産品の輸出などを手掛ける琉球物産貿易連合になった。指定管理は2022年3月までの2年間。同社長で道の駅かでの高良守社長は「貿易に20年以上携わって得たノウハウを地域経済の活性化に役立てたい」と、新たに同駅で海外宅配事業に取り組み考えだ。

沖縄県産手納町の「道の駅かでな」の指定管理者が4月から、アジアを中心に県産品の輸出などを手掛ける琉球物産貿易連合になった。指定管理は2022年3月までの2年間。同社長で道の駅かでの高良守社長は「貿易に20年以上携わって得たノウハウを地域経済の活性化に役立てたい」と、新たに同駅で海外宅配事業に取り組み考えだ。

「買物のノウハウを地域経済の活性化に役立てたい」と話す高良守社長。21日の店舗再開に向けて準備を進めている15日、高良守社長と「道の駅かでな」

03年度にオープンした同駅は4階の展望台で極東最大規模の米軍産手納基地を一望でき、中国人を中心に国内外から観光客が多く訪れる。現在はリニューアル工事中で、22年度に使用開始の予定。新型コロナウイルス感染症の収束後、高良社長は訪日外国人の購買意欲を喚起しようと、同駅の土産店で購入した商品を海外に届ける海外宅配事業を展開する。書類が多く複雑な輸出にかかる検疫などの手続きを同社が担う。道の駅での海外宅配は珍しいと言。

高良社長は「道の駅かでなから仕組みを作り、海外向けの新たなビジネスとして一つのモデル事例を示すことができた。インバウンドのみに偏らず、将来的には海外からサイトを通して道の駅の土産を購入できるようにしていきたい」と展望を語った。

同駅では県の活動自粛と休業要請が全面解除される21日から31日まで、1階の土産店で全商品10%引きセールを実施する。そのほかハンバーガーなどを販売するテナント、タピオカドリンクを販売するキッチンカーでも独自のサービスがある。

店舗入り口に消毒液を設置し、来店者にマスクの着用やソーシャルディスタンス（社会的距離）を促すよう呼び掛けている。高良社長は「新聞を見た声を掛けていただいたお客さんに割引したい。新型コロナウイルスの影響で沈んだ景気を盛り上げたい」と話した。

琉球新報 webnews2020年10月10日掲載



経済
海外への荷物配送、バーコードでスムーズに 琉球物産貿易連合が開発

2020年10月10日 10:48
配送 バーコード 琉球物産貿易連合

琉球物産貿易連合（豊見城市、高良守社長）は商品のバーコードを読み取るだけで海外に荷物を送る際の税関申請に必要な書類を作成できるシステムを開発し、指定管理をしている高良守社長が「道の駅かでな」で9日から運用を始めた。同時に道の駅かでは、おみやげなどの海外配送を店舗で受け付ける「店舗受付型海外配送サービス」も開始した。

外国人観光客は購入したおみやげを自分で物流会社に持ち込み配送していることが多い。購入店舗から物流会社まで自分で持っていく必要があることや、海外に荷物を送る場合に必要となるインボイス（税関申告書類）作成の煩わしさがこれまで課題となっていた。

特にインボイスは購入した商品名や価格、個数を購入者自身が英語で記入しなければならず、観光客の負担になっていた。

琉球物産貿易連合が開発したシステム「海外配送サービスシステムエクセルファクト」は、商品バーコードから商品データを読み取って外国語で自動入力し、自動的にインボイスなどの書類を作成。その場で印刷もできる。

高良社長は「宅配手続きの知識がなくても誰でもできる」と利便性をPR。「一義的にはインバウンドの利便性向上だが、物流を確立させることで、海外にいながら沖縄の商品を購入できるポストコロナのビジネスモデル構築につながる」と話した。

沖縄eコマース協議会の銘苅誠也代表理事は「今後、越境ECも含めて展望がある」と期待した。

店舗受付型海外配送サービス開始にあたり、道の駅かでは11月末まで先着20人に海外配送の料金が20%割引となるキャンペーンを実施している。

クラウド版システムの稼働テストも道の駅かでなでスタート



テスト導入の様子が注目。最終版のテストも開始

「道の駅かでな」でのテスト導入は、県内各マスメディアから取材され、反響を得ました。また、4月よりビジネス稼働の最終版のテストも進行中です。

事業化に向けての
対象産業への波及インパクト

当サービスの導入想定産業分野

外国人観光客が訪れる幅広い分野の産業が
当サービスの利用顧客と想定できる



道の駅



主要観光施設



土産品店
(数百店)



デパート・SC
(DFS含む)



ドラッグストア



ホテル業

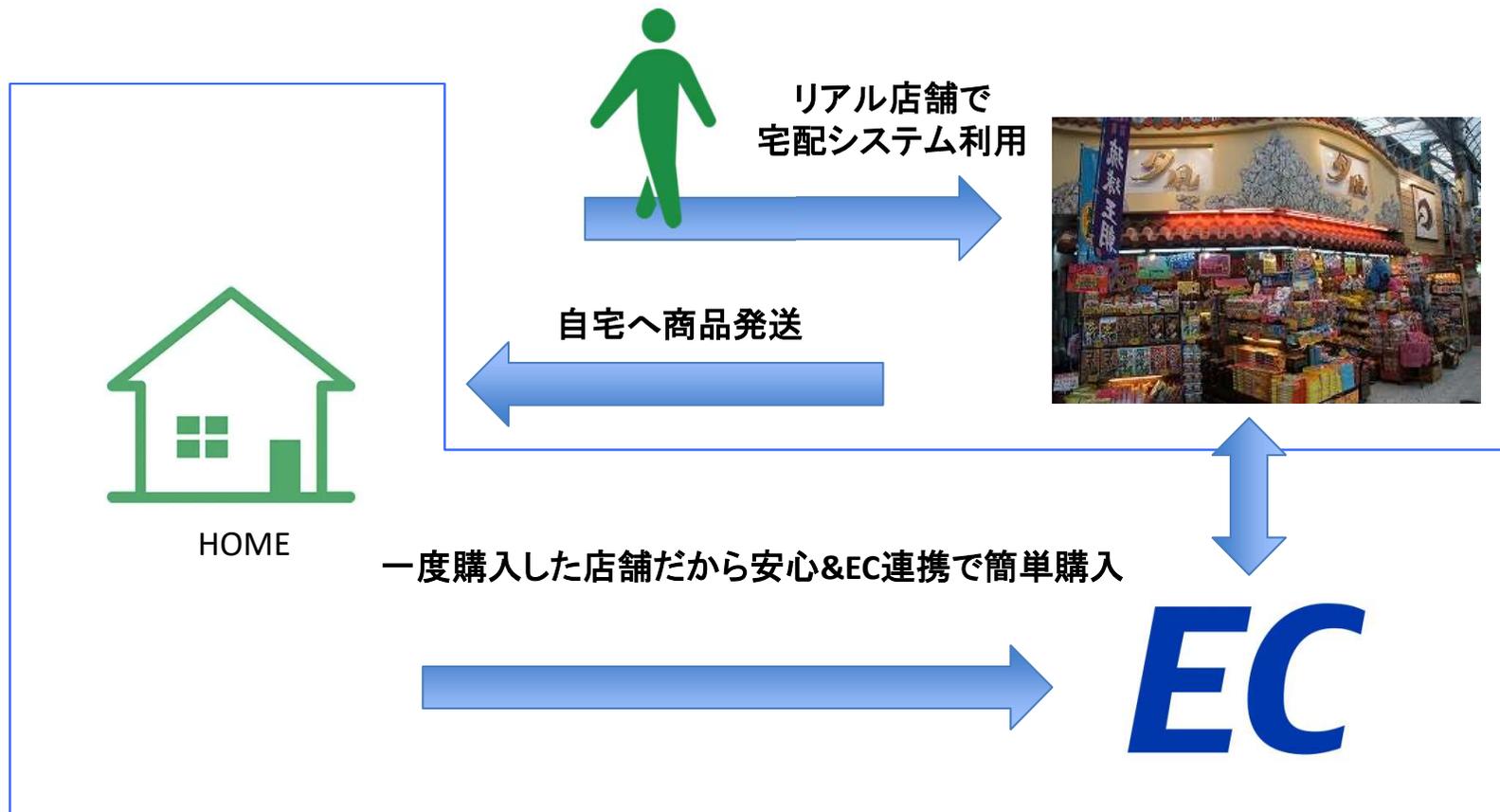


空港内施設

EC

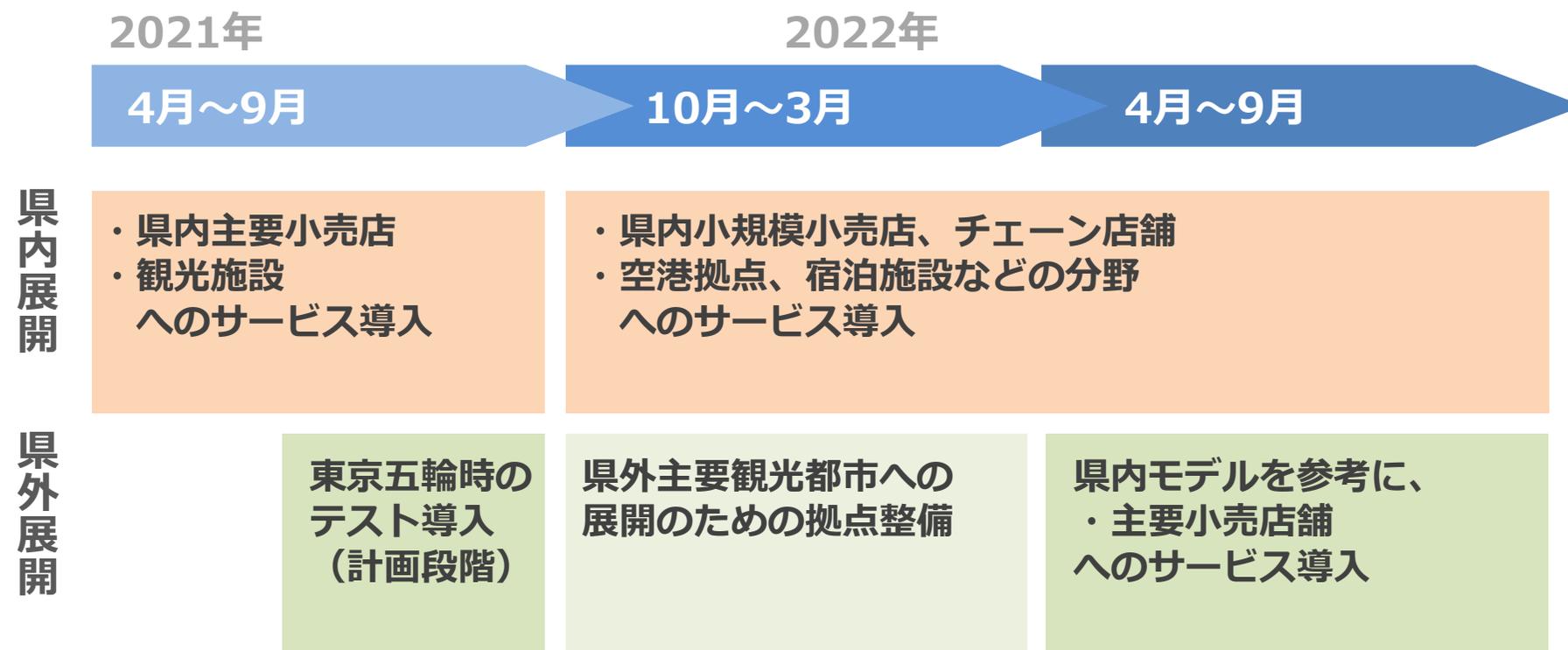
通販事業者

外国人観光客との接点をその後も活用できる仕組み



店舗の越境EC化 = 旅アトの売上げアップへ

サービスリリーススケジュールおよび売上予測



事業規模想定

県内100アカウント

[2021年9月期]
1,000,000円/月

(10,000円/月×100件)

県内300アカウント

[2022年3月期]
3,000,000円/月

(10,000円/月×300件)

県内1000アカウント
県外300アカウント

[2022年9月期]
13,000,000円/月

(10,000円/月×1000件)

**コロナ禍後に必ず戻る観光需要を
新しい販路拡大の機会に変える
事業を展開していきます**

ご静聴ありがとうございました